

# 昭和 54 年度主要施策に関する 重点要望事項

## 1. 備北新都市圏の建設促進

第三次全国総合開発計画における定住構想の理念を踏まえながら、県におかれては、現在、「中国山地の中心圏をめざした定住社会の形成」を基本目標として備北新都市圏を建設すべくその整備基本計画を策定中であるが、これが建設促進を図るために、国における三全総推進のための各種事業（国土庁、建設省、農林水産省、自治省関係）の採択に努められ、とくに、文化公園、国営公園など具体的事業の推進により、新都市圏建設を促進されたい。

## 2. 交通対策の促進について

- (1) 国鉄在来線の整備充実を強力に推進されたい。
  - ① 芸備線広島駅——三次駅間の複線化
  - ② 可部線横川駅——可部駅間の複線化
- (2) 国道 54 号広島——可部間の交通渋滞の緩和対策を早急に図られたい。
- (3) 中国縦貫自動車道乗降連絡の国道及び主要地方道等幹線的道路の整備を早急に図られたい。

## 3. 医療対策の推進について

広島県保健医療基本計画に基づき、保健医療施設の整備、医療供給体制の確立、医師及び保健医療従事者の確保を早急に図り、へき地医療の万全を期されたい。

#### 4. 就業の場の確保について

豊かな県民生活と内陸地域の発展をささえ、新しい活力を生み出すため、内陸地域にふさわしい産業機能（とくに工業生産機能）を確保し、就業機会の増大を進め、所得水準の向上を図ることが緊要である。

とくに、兼業農家の増加傾向への対応と若年層の定住化を図るため、安定的でしかも魅力ある就業の場の創出が急務とされているので、各施策分野において、積極的な対応をされたい。